

みどり
 国土里ネットみやぎ

土地改良広報

2014

1

特集 仙台東土地改良事業計画概要

写真：松島の日の出（宮城県観光課提供）

トピックス

- P. 2 新春挨拶
 P. 8 特集 仙台東地区の国営仙台東土地改良事業計画概要
 P. 10 平成25年度第2回理事会
 平成25年度第1回臨時総会
 平成25年度第3回理事会
 P. 12 平成25年 秋の叙勲・文化の日表彰
 P. 13 農業農村整備の集い
 P. 14 第36回全国土地改良大会北海道大会
 P. 16 第18回七夕祭り こどもに夢を
 P. 17 平成25年度宮城県農業集落排水事業推進協議会担当者研修会
 平成25年度宮城県中山間地域活性化推進協議会担当者研修会
 P. 18 みやぎの農業農村 復興米の新米試食会
 P. 19 平成25年度産新米（復興米）試食会
 P. 20 平成25年度 土地改良区職員研修会
 平成25年度 土地改良区役員研修会
 P. 21 鳴瀬川土地改良区・志田郡桑折江土地改良区
 合併予備契約調印式
 P. 22 平成25年度新任（若手）職員研修会
 P. 23 東北農政局・復興庁宮城復興局へ要請活動

- P. 23 平成26年度農業農村整備関係予算の確保並びに
 東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動
 P. 24 農山漁村地域復興基盤総合整備事業「西矢本地区」安全祈願祭
 七ヶ浜土地改良区事務所建設に係る起工式
 P. 25 国営仙台東土地改良事業の起工式
 農業競争力強化基盤整備事業「名饈地区」安全祈願祭
 P. 26 県営担い手育成基盤整備事業「田尻第2地区」完工祝賀会
 農山漁村地域復興基盤総合整備事業「岩沼地区」安全祈願祭、起工式
 P. 27 農山漁村地域復興基盤総合整備事業「巨理地区」安全祈願祭、起工式
 P. 28 平成25年度新規採用職員の紹介

農地・水保全管理支払交付金

- P. 32 志波姫地区十文字地域環境保全会（栗原市）

土地改良区めぐり ～シリーズ13～

- P. 34 仙台東土地改良区（仙台市）

おしらせ

- P. 36 本会役員就任関係、本会会員代表者の就退任関係
 P. 37 第1回みやぎのふるさと農美里フォトコンテストの開催案内
 P. 38 土地改良会館改修工事の終了
 P. 39 連合会日誌・今後の行事予定



新年のご挨拶



宮城県土地改良事業団体連合会
(水土里ネットみやぎ)

会長 伊藤 康志

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様にはご家族お揃いでお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から2年9ヶ月余りが経過し、この間、関係各機関のご尽力により被災地の復旧・復興は着実に進んでおります。

宮城県では今年度を「宮城県震災復興計画」による「復旧期」の最終年と位置づけ、早期の営農再開に向けた災害復旧はもとより、大区画化ほ場整備を通した農地の面的な集約や土地利用の整序化を進めているところであります。さらに、仙台市東部地域では「国営仙台東土地改良事業」が本格的に始まり、県内被災地全体の復興モデルとして、あるいは日本農業の再生モデルとして、今後全国に情報発信されることで、復興の取り組みにも弾みがつくものと期待されているところであります。

また、昨年は梅雨明けの遅れや、台風18号の影響があったものの、県内の作況指数は104で、作柄は4年連続の「やや良」となりました。これは、水や土地改良施設を地域の「共有財産」として、「地域連携」のもとに有効活用できた結果であり、まさに農業農村整備事業の成果そのものであったと思います。

しかしながら、我が国の農業・農村を取り巻く情勢は厳しさを増しており、農業従事者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地など国内の諸問題に加え、TPPによる「例外なき関税の撤廃」に代表される世界経済の自由市場化が我が国の農業分野に壊滅的な打撃を与え、それが危惧されるなど、解決の糸口がなかなか見いだせない難題が国内外に山積しております。

このような中、政府においては、農業・農村全体の所得を今後10年で倍増させることを目指すなどとした「農林水産業・地域の活力創造プラン」を決定し、「農政の大改革を実現していく」と意欲を示しております。

本会といたしましては、「コメの生産調整廃止」・「日本型直接支払制度」・「農地中間管理機構」など、新たな農業政策等に対し、その方向性についての議論をさらに深めるための施策提言を行うとともに、国・県との連携を図りながら積極的に業務の展開を図り、組織の総力を結集して各種事業の推進と、必要な予算確保を図る活動等を一層強力に推進して行くことで、会員市町村・土地改良区の皆様へこれまで以上に手厚い支援を実施して参る所存であります。

さて、昨年はアベノミクス効果により、久しぶりに経済に活発な動きが現れ、また、2020年五輪の東京招致が決定するなど明るい話題が数多くありました。宮城県でもプロ野球の東北楽天ゴールデンイーグルスが日本一となり、大勢の県民・ファンに熱い感動をプレゼントしてくれました。優勝パレードには21万人以上の大観衆が集まり、満面の笑みで優勝をお祝いできたことは人々の希望を大きく膨らませ、今後の復興活動への大きな励みとなったものと確信しております。

我々水土里ネットみやぎはこの大きな時代の変革の中で、先人たちの英知により守り育ててきた「水・土・里」を子々孫々に引き継ぐため、東日本大震災からの復興への積極的な取り組みに邁進して参りますので、関係する皆様方の一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、本年が皆様にとりまして佳き年となりますよう、さらにまたご健勝とご発展をご祈念申し上げます。まして新年の挨拶と致します。



将来の発展に向けて 果敢に挑戦する年に



宮城県知事 村井 嘉 浩

新年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。

昨年は、東北楽天ゴールデンイーグルスが球団創設以来初の日本一に輝き、本県のみならず、東北に夢と感動を与えてくれました。また、春に開催した震災後初の大型観光キャンペーン「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」では、700万人を超えるお客様をお迎えし、おもてなしをすることができました。これも、県民の皆様の御理解、御尽力の賜物と考えております。

さて、東日本大震災から2年9か月余りが経過しました。この間、多くの方々からの御支援のもと、全力で復旧・復興に向けて取り組んでまいりました。特に、昨年は、「宮城県震災復興計画」（平成23年10月策定）で定めた10年間の道筋のうち、生活基盤や公共施設を復旧させる「復旧期」の最後の年に当たり、その取組を加速させてきたところです。

今年は、「宮城県震災復興計画」における「再生期（4年間）」の最初の年になります。「再生期」においては、復旧・復興を一層加速させるとともに、「宮城の将来ビジョン」に掲げた将来像を見据えて、本県が発展していくための様々な種をまき、各地で芽吹くよう、新たな取組にも挑戦していかなければなりません。そのため、「迅速な震災復興」、「産業経済の安定的な成長」、「安心して暮らせる宮城」、「美しく安全な県土の形成」を政策推進の基本方向に掲げて、県民の皆様が復興を実感し、経済成長と豊かさを感じていただけるような取組を進めてまいります。

農林水産業においては、被災した生産基盤の早期復旧に併せ、競争力のある先進的な経営体の育成を図っていくことが重要です。そこで、農業については、農地の集積や大区画化等を進めるとともに、アグリビジネスの推進により収益性の高い農業の実現を目指し、多様な担い手を育成してまいります。林業については、県産材の使用や流通拡大を図るため、優良みやぎ材などの供給体制の強化に努めます。水産業については、民間のノウハウなどを活用した競争力の強化と、協業化に向けた取組を積極的に支援してまいります。さらに、食材王国みやぎの再構築に向けて食品関連産業の商品づくりや販路拡大等の支援を行うこととしております。

農業の先進的な取組として、復興交付金を活用した農地整備事業に取り組む地域では、地域の合意形成をもとに、従来にない大規模な農業経営体による営農が予定されています。このため、ほ場条件の見直しや経営販売戦略の確立など、新たな経営体が抱える課題の解決について積極的に支援することとしております。

また、この事業地域では、防災集団移転促進事業の住宅跡地を再配置する土地利用の整序化を行い、地域のまちづくり計画を効率的に実現できるよう、復興交付金制度を最大限に活用してまいります。

私は、昨秋に行われた知事選挙において、県民の皆様の御支持をいただき、引き続き県政を担わせていただくことになりました。本県が創造的復興を成し遂げ、「生まれてよかった、育ってよかった、住んでよかった」と思える宮城県となるために、今年も果敢にチャレンジしてまいります。引き続き、県民の皆様のご信頼に応えられるよう、しっかりと前を向き、県政運営の先頭に立って、皆様と共に進んでまいりたいと考えておりますので、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。



年頭のごあいさつ



宮城県議会議長 安藤 俊 威

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

宮城県に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から2年10ヶ月となります。沿岸部を中心とする被災地域では、主要な道路や港湾などのインフラの復旧は進んでまいりましたが、被災された方々への生活支援や公営住宅等の整備、生活安定のための雇用機会の創出、さらには、経済の立て直しのためのまちづくりや産業基盤の整備など、本格的な復興を促進するための着実な取組が求められております。また、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う汚染水漏れ等の事態も未だに収束せず、農林水産業をはじめとした地域産業の再生の障害となるなど、復興に向けて解決すべき課題がまだまだ山積しております。

今年は、「宮城県震災復興計画」における「再生期（4年間）」の最初の年となりますが、「再生期」では、復旧・復興をさらに加速させるとともに、その後のさらなる発展に向けた取組も進めていくことが重要であります。

このような中、昨年は、復興を後押しする明るい話題が少しずつではありますが見えてまいりました。

仙台を本拠地とする「東北楽天ゴールデンイーグルス」が、初めての「日本一」に輝きました。球団創設から9年目での快挙であります。この間の様々な苦難に打ち勝ち、日本一を達成した姿は、宮城県民のみならず、東北全体に夢と希望、感動を与え、震災からの復興を目指す私たちにとって大きな力となりました。

また、岩手県と宮城県の関係者が連携協力して誘致に取り組んできた「国際リニアコライダー（ILC）」の建設候補地が、研究者による立地評価会議によって、岩手・宮城にまたがる「北上山地」に一本化されました。立地実現により、関連施設の建設や運営に伴う経済波及効果や新たな産業集積が見込まれ、岩手・宮城両県のみならず、東北の経済再興とさらなる成長も期待されており、引き続き、ILCの日本への誘致実現に向けて活動に取り組んでまいります。

そして、東京都が中心となり招致活動を進めてきた「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催都市が「東京」に決定いたしました。本議会では招致推進を決議し活動に取り組んでまいりましたが、日本での開催決定は大変喜ばしいことでもあります。本県でもサッカーの予選開催が予定されており、東日本大震災で様々な御支援をいただいた国内外の皆様へ復興の姿をアピールする絶好の機会になることから、円滑な大会運営に協力してまいりたいと考えております。

宮城県議会では、ふるさと宮城の一日も早い震災からの復興とさらなる発展、そして県民が安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、引き続き全力で取り組んでまいりますので、皆様におかれましても、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとりまして良い年となりますよう御祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。



新年の御挨拶



東北農政局長 佐々木 康 雄

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

平素より農政とりわけ農業農村整備事業の推進につきまして、多大なる御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から、三年が経過しようとしております。復旧、復興は着実に進んでおりますが、その一方で未だ復旧が手つかずの地域もあります。改めて被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

東北の農業は、地域経済の中で重要な地位を占めるとともに、消費者の皆様への安全な食料の安定供給やその有する多面的機能の発揮等を通じ、国民生活の維持向上の上でも重要な役割を果たしています。

政府は、昨年十二月、今後の農林水産政策の方向を示す「農林水産業・地域の活力創造プラン」を取りまとめました。このプランでは、農業・農村全体の所得を今後十年で倍増させることを目指し、農林水産業の産業としての競争力を強化するとともに、農業・農村の有する多面的機能を持続的に維持・発揮できるよう、産業政策と地域政策を車の両輪に据えて施策の展開を図っていくことが明記されています。このプランに掲げられた目標を実現するための各種の具体的施策も、この数箇月の間に相次いでその骨格が示されており、先の臨時国会では、県段階に農地中間管理機構を設置して担い手への農地の集積・集約化を強力に推し進め、食料生産の体質強化を図るための関連法案が成立いたしました。また、米の生産調整の見直しを含む米政策や経営所得安定対策の改革、日本型直接支払制度の創設など、攻めの農林水産業を展開していくための骨太の施策が今後順次具体化される予定であり、我々は本年を「攻めの農林水産業実行元年」と位置付けております。

特に、東北地方の農業生産基盤は水田を中心に形成され、我が国の主要な食料供給基地として重要な役割を担っています。東北農業が持てる力を十分に発揮するためには、水田をフルに活用することにより食料自給率・自給力向上の取組を推進し、農業・農村の再生に結びつけることが重要な課題であると考えております。

このため、まず第一に、東日本大震災からの本格的な復旧・復興をさらに強力に推進してまいります。

東北農政局管内で津波で被災した農地は約二万ヘクタールですが、これまでの災害復旧工事等により、本年は、放射線の影響がある地域や被害が甚大な地域を除けばほとんどの農地で営農再開が可能となります。しかし、一方で、排水機場などの施設の本格復旧等には今少し時間がかかります。被災地の方々の「一刻も早く復旧・復興をしてほしい」というお気持ちにお応えするべく、引き続き全力で取り組んでまいります。

第二に、水田農業を中心に農業を営んできた我が国にとって、安定的な農業用水の確保なしに農業の持続的発展は考えられません。このため、老朽化した農業水利施設の長寿命化・耐震化対策、洪水被害防止対策を推進してまいります。また、小水力や太陽光の活用は、地球温暖化の防止に加えて、施設管理コストの軽減という観点からも重要な取組です。このように農村地域に存する豊かな資源（土地、水、景観、伝統・文化など）を積極的に活用し、農村地域の発展に寄与するための施策の展開に努めてまいります。

第三に、我が国農業と農村の再生を促進する観点から、多様な担い手の育成・確保や生産コスト削減・高付加価値化に資する農地の大区画化、汎用化等の農業生産基盤の整備を加速化してまいります。

また、近年自然災害が多く発生しており、昨年は東北でも各地で甚大な被害がありました。国土強靱化の観点も踏まえ、防災・減災対策に引き続き取り組んでまいります。もとより、被災された農業者の方々への支援には万全を期したいと考えております。

東北農政局といたしましては、東北を新たな姿の食料供給基地として再生させるため、被災した農業・農村の復旧・復興と「新しい東北」を創り上げるための多様な取組への支援に今後とも全力を挙げて取り組んでまいります。本年も皆様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



新年に当たって



全国土地改良事業団体連合会
(全国水土里ネット)

会長 野 中 広 務

平成26年の年頭に当たり、全国の農業農村整備事業の推進に御尽力頂いております皆様に、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

農業・農村は、国の大本であり、日本の豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健全であって初めて維持されるものであります。このため、先人達は農業・農村が健全に発展していく上で、極めて重要な役割を担う農地や農業用水などの維持、向上に向け、献身的な努力を続けてきました。

しかしながら、平成22年度に土地改良関係予算が大幅に削減され、我々は農業・農村の将来に大きな不安を抱えることになりました。また、東日本大震災や台風等による集中豪雨は、先人達の努力の結晶を破壊し、これらの地域の農業・農村に大きな爪痕を残しました。現地では、一刻も早い復旧、復興に向け、更なる国の力強い支援を強く望んでいます。

全国の農業・農村においても、過疎化、高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積みしています。

全国各地で農業水利施設の老朽化も進行しており、食料生産の増大、非主食米等への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすものではないかと大変危惧しております。

さらには、TPP交渉においても、昨年内合意は見送られましたものの、引き続き国益をかけた厳しい調整が行われております。

こうした内外の厳しい情勢が続いている中、昨年十二月、政府は「農林水産業・地域の活力創造プラン」を決定し、農政の大きな転換方針を打ち出しました。「農地中間管理機構」を活用して十年間で全農地の八割を大規模農家に集約し、競争力を強化するとともに、「六次産業化」の推進や五千億円弱で推移している農林水産部・食品の輸出額を2020年までに一兆円に増やすことを打ち出しています。更に生産調整を五年後をめどに廃止するのに伴い、現行の経営所得安定対策の大幅な見直しと農地・農業用施設を守る取り組みを支援する「日本型直接支払い」の創設が決定されました。

我々水土里ネット関係者としても、こうした政府の動きを重く受け止め、国が目指す方向の実現に向け、積極的な貢献を果たしていくことが必要です。加えて、水土里ネットの役割や農業・農村を守り、発展させていくことの重要性・必要性についても、広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力が必要です。幸いにして、農地集積し、経営規模を拡大することにより、新たな農業経営を展開すべく、全国各地で高い志を有し、地域農業を主導する若い人たちの取り組みも見られるようになってきております。地域の農業や農業情勢が大きく変貌してゆく中、「水」「土」「里」を担う中核的な存在である水土里ネットが、長年培ってきた技術と経験を最大限活用し、新たな地域農業を切り開き、国民の財産である農業・農村を守り、発展させていくことが重要であります。そのことによって、水土里ネットと農業・農村に対する国民の皆様の幅広い共感が得られ、施策が安定的に実行されることを強く期待するところであります。

最後になりますが、本年は新しい農政への転換に向け着手する年であります。輝かしい年の出発に当たり身の引き締まる思いがいたすとともに、私も皆様方とともにこれら農政の転換に積極的に取り組んで参りますことを、ここに改めてお誓い申し上げたいと存じます。

本年が全国の皆様にとって良き年でありますように、御健勝と御発展を祈念いたしまして、私の新年の御挨拶と致します。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

みどり
水土里ネットみやぎ
 (宮城県土地改良事業団体連合会)



会 長 伊藤 康志
 (大崎市長)



副会長 三品 幸徳
 (亶理土地改良区理事長)



副会長 高橋 義矩
 (迫川上流土地改良区理事長)



専務理事 高橋 清隆
 (学識経験者)



理 事 加藤 徹
 (宮城大学・教授)



理 事 大沼 喜昭
 (柴田町土地改良区理事長)



理 事 亀谷 久雄
 (角田隈東土地改良区理事長)



理 事 佐々木一十郎
 (名取市長)



理 事 菅原 勘一
 (大崎土地改良区理事長)



理 事 上野 智通
 (迫川沿岸土地改良区理事長)



理 事 佐藤 勝也
 (河南矢本土土地改良区理事長)



理 事 安部 昭男
 (伊豆沼土地改良区理事長)



総括監事 小野寺 衛
 (涌谷町土地改良区理事長)



監 事 大和田清一
 (大和町土地改良区理事長)



監 事 三浦 敏壽
 (石巻市稲井土地改良区理事長)

外職員一同

【特集】 仙台東地区の国営仙台東土地改良事業計画概要!!

～仙台東の未来づくり～

事業の目的

- 本地区は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により仙台市東部に広がる水田地域の農地が浸食され、土砂やがれきが堆積するとともに、用排水路や排水機場などの農業用排水施設が被災したことから、緊急に復旧を進めることで早期の営農再開を図ることが急務となっています。
- このため、農地及び農業用排水施設の復旧とともに、本事業により大区画化を主体とした区画整理を実施し、農地の利用集積による経営規模の拡大と経営の合理化を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものです。
- 併せて、本事業による区画整理や道路の再配置により地域の防災機能の向上を図り、再度災害の防止に寄与するとともに、国土保全に資するものです。

関係市・区

仙台市（宮城野区、若林区）

地区面積

地区面積：2,162ha（農地、道路・水路含む）

農地面積（現況）：1,924ha

農地面積（計画）：1,909ha

主要工事計画

- (1) 区画整理 1,909ha
- (2) 末端用水路等 L=153km・揚水機12か所
- (3) 末端排水路等 L=126km
- (4) 暗渠排水 1,539ha

事業費

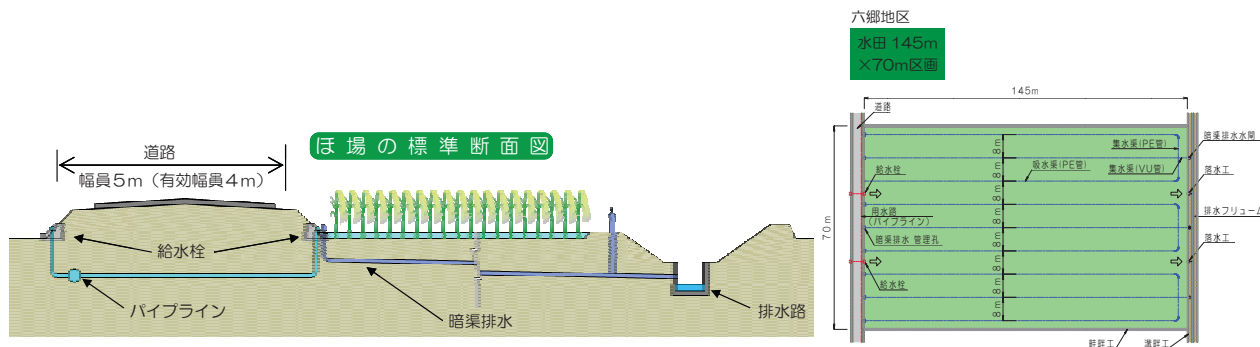
187億円

事業工期

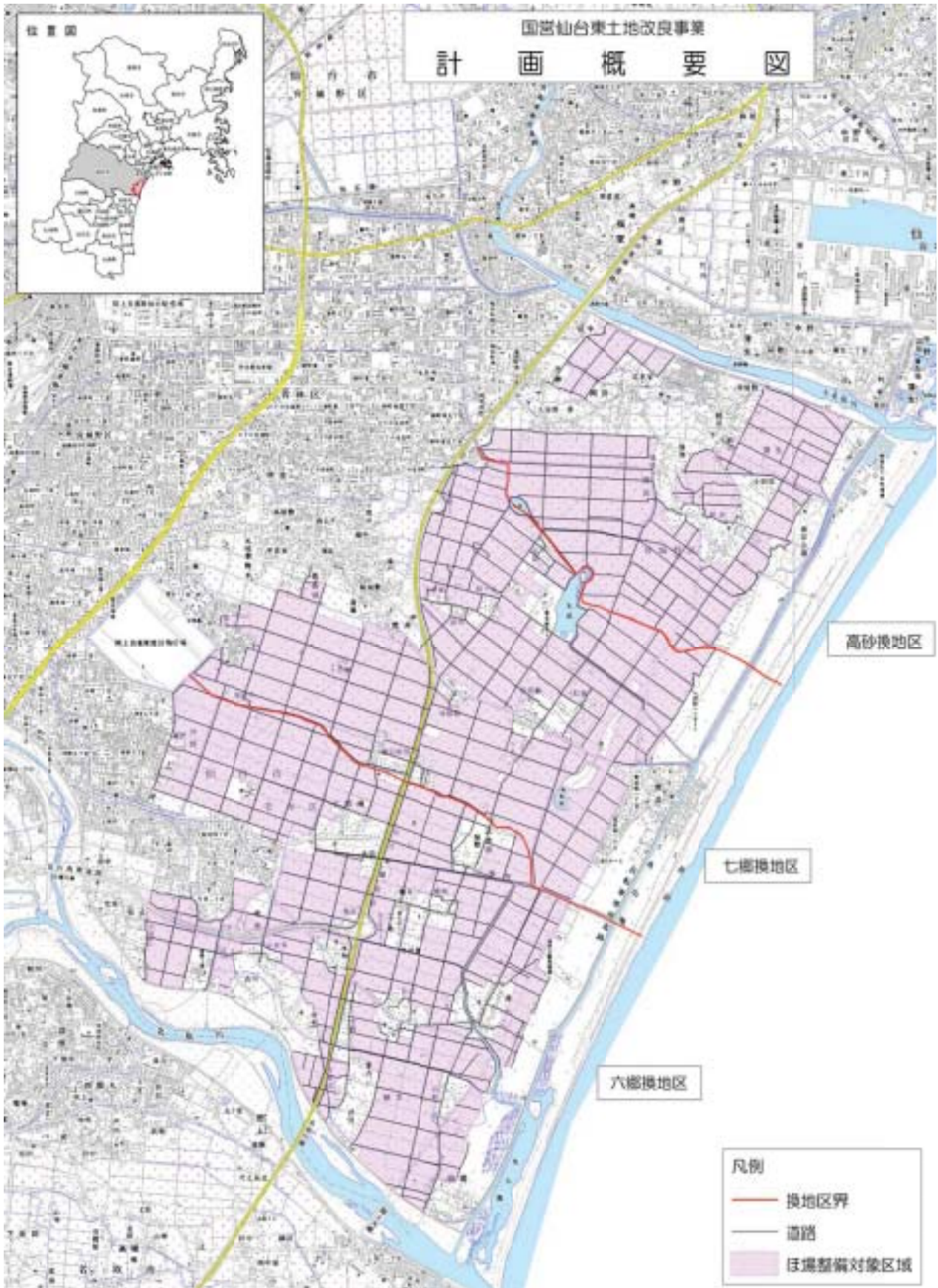
平成24年度～平成28年度（予定）

負担割合

国及び県	仙台市	農家	計
約98%	約2%	0%	100%



事業区域及び換地区



平成25年度第2回理事会を開催

本会では、去る9月17日（火）平成25年度第2回理事会を開催し、平成25年度第1回臨時総会提出議案、他の審議を行った。

当日は伊藤会長はじめ理事9名、監事3名及び参与の宮城県農林水産部菅原次長の臨席により開催された。

はじめに伊藤会長から挨拶後、定款第25条第3項の規定により伊藤会長が議長となり議事に入った。

議事は第1号議案から第8号議案までの8案件を上程し、事務局から詳細な内容説明等を行い、原案通り承認可決された。

議事終了後、高橋専務理事から①東部支部の役員について、②本会会員関係について、③H26農業農村整備事業関係予算について、④土地改良会館の改修工事の進捗状況について等々報告があり、理事会を終了した。

理事会終了後、各役員で本会の今後のあり方について意見交換を行い、盛会の内終了した。理事会提出議案は次のとおり。

- | | |
|-------|--------------------------|
| 第1号事案 | 参与の委嘱について |
| 第2号事案 | 法132条検査の対応について |
| 第3号事案 | 処務規程の一部改正について |
| 第4号事案 | 会計規程の一部改正について |
| 第5号事案 | 平成25年度一般会計補正予算の専決処分について |
| 第6号事案 | 平成25年度第1回臨時総会の提出議案について |
| 第7号事案 | 平成25年度第1回臨時総会の日時及び場所について |
| 第8号事案 | 副会長の互選及び順位の決定方法について |

平成25年度第1回臨時総会を開催

本会では、去る10月8日（火）午後2時より本会館5階大会議室において、平成25年度第1回臨時総会を開催した。

当日の総会には、東北農政局本間農村計画部長並びに村井宮城県知事等多数の来賓を迎え、主催者を代表して伊藤会長から『震災後、農地の復旧・復興及び農業用施設の復旧・復興が着実に進んでいることに感謝する。本日の臨時総会は平成24年度決算関係と役員の補欠選任等5案件を提案し、更には本会館の改修工事もほぼ完成に近づいているので、お披露目も兼ねて今回開催したのでよろしくお願ひしたい。』と挨拶があり、議事に入った。

議事では、秋保町土地改良区の中野勲理事長が議長に選出され、第1号議案から第5号議案までの5案件が上程され、慎重審議の結果第1号議案から第4号議案までは原案通り承認可決された。

続いて、第5号議案の役員の補欠選任について上程され、各支部から選任された計8名の詮考委員が慎重審議した結果、佐



平成25年度第1回臨時総会

藤詮考委員長（仙台東土地改良区理事長）から2名を推薦する旨の報告があり、報告通り承認された。

最後に、三品副会長が閉会挨拶を述べ、臨時総会の一切を終了した。

本臨時総会の提出議案は下記のとおり。

第1号議案 平成24年度事業報告の承認について

第2号議案 平成24年度一般会計収入支出決算の承認について

第3号議案 平成24年度財産目録の承認について

第4号議案 平成25年度一般会計収支補正予算の理事会専決処分に係る報告承認について

第5号議案 役員の補欠選任について

なお、第5号議案の補欠選任で選任された方は次のとおり
会員を代表する理事（2名）

【北部支部】 菅原勤一氏 大崎土地改良区理事長 [任期 H25.10.8～H27.8.22]

【東部支部】 安部昭男氏 伊豆沼土地改良区理事長 [“ ”]



伊藤会長挨拶



菅原勤一氏（大崎土地改良区理事長）



安部昭男氏（伊豆沼土地改良区理事長）

平成25年度第3回理事会を開催

本会では、去る10月8日（火）平成25年度第3回理事会を開催し、平成25年度第1回臨時総会で選任された新たな役員2名を加え、副会長の互選並びにその順位についての審議を行った。

理事会は伊藤会長はじめ理事11名が出席して開催され、はじめに伊藤会長から挨拶後、定款第25条第3項の規定により伊藤会長が議長となり議事に入った。

議事では今回の第1回臨時総会で選出された新役員の紹介並びに自己紹介後、副会長の互選並びに副会長の順位について協議し、下記のとおり決定した。

第1副会長 三品幸徳氏（巨理土地改良区理事長）

第2副会長 高橋義矩氏（迫川上流土地改良区理事長）



三品幸徳氏（巨理土地改良区理事長）



高橋義矩氏（迫川上流土地改良区理事長）

～平成25年 秋の叙勲～

去る11月3日付で、内閣府から平成25年秋の叙勲受章者が発表され、本会関係者では、千葉 仁一氏（元 宮城県土地改良事業団体連合会副会長・元 北上川沿岸中田地区土地改良区理事長）が土地改良事業功勞により旭日双光章を受章されました。

このたびの受章を心からお慶び申し上げ、益々のご活躍を祈念申し上げます。



旭日双光章



千葉 仁一氏

元 宮城県土地改良事業団体連合会副会長
元 北上川沿岸中田地区土地改良区理事長

～平成25年 文化の日表彰～

宮城県は平成25年文化の日表彰受賞者を発表し、本会関係者では産業功勞として、齋藤 宏一郎氏（石巻市蛇田土地改良区理事）、丸山 與志雄氏（元 登米市東和町土地改良区理事長）、鈴木 文英氏（志田郡桑折江土地改良区理事）が受賞されました。

このたびの受賞を心からお慶び申し上げ、益々のご活躍を祈念申し上げます。



産業功勞



齋藤 宏一郎氏
石巻市蛇田土地改良区理事

産業功勞



丸山 與志雄氏
元 登米市東和町土地改良区理事長

産業功勞



鈴木 文英氏
志田郡桑折江土地改良区理事

「農業農村整備の集い」が開催される

去る11月26日（火）、東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ砂防」において、全国から農業農村整備事業関係者700余名が参集し、全国土地改良事業団体連合会主催による「農業農村整備の集い」が開催された。

はじめに、野中広務全国水土里ネット会長が「全国から多数の関係者にお集まり頂きありがとうございます。農業・農村の課題は山積しており、国が目指すべき方向の実現に水土里ネットとして積極的に貢献していかなければならないと考えております。本日は、国会議員の先生方に多数お集まり頂いておりますので、農業農村整備事業に対する温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます次第であります。」との主催者挨拶で始まり、来賓として出席された林芳正農林水産大臣より祝辞が述べられた。

続いて、農林水産省農村振興局の實重重実局長より我が国の農政等をめぐる状況、平成26年度農業農村整備事業予算についての情勢報告があった。

その後、3県（宮城県・新潟県・鹿児島県）からの事例発表があり、本県からは仙台東土地改良区の佐藤稔理事長から「仙台東部地域津波被災の農地復興と将来展望」と題し、全国からの支援への感謝と、復興・再生の国営事業の取組と将来展望について報告を行った。

最後に「農業農村整備の集い」の名においての要請案文を採択し、集いを終了した。

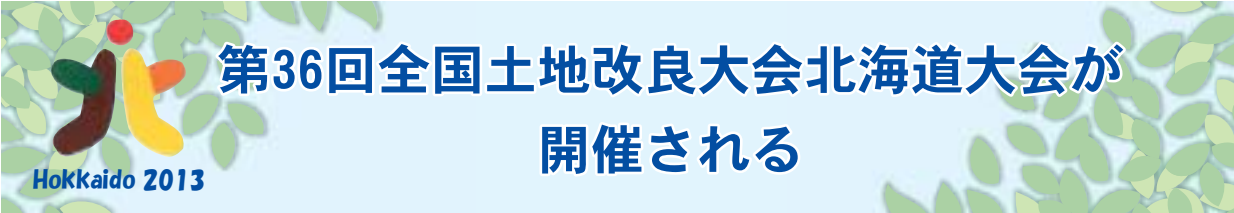
また、本会として宮城県選出国会議員へ（集いに参加者した本会役員）、全国水土里ネットの代表として財務省へ（本会の三品副会長、高橋副会長、高橋専務理事）それぞれ要請活動を行った。



農業農村整備の集いの様子



宮城県選出愛知国会議員への要請活動



第36回全国土地改良大会北海道大会が 開催される



北海道大会式典



主催者挨拶（全国水土里ネット野中会長）

去る9月11日（水）「水・土・里かがやく北の大地 明日を担う土地改良」～食と農業・農村の未来を確かなものに～をテーマに、「第36回全国土地改良大会北海道大会」が北海道札幌市の北海道立総合体育センター「北海きたえーる」を会場に、全国水土里ネット・水土里ネット北海道主催、農林水産省・国土交通省・北海道・札幌市等の後援で開催された。

大会当日は、関係者約3,000名が出席し、来賓には江藤拓農林水産副大臣、高橋はるみ北海道知事、上田文雄札幌市長、加藤礼一北海道議会議長を迎え、水土里ネット北海道の宮谷内副会長の開会宣言並びに水土里ネット北海道の眞野会長の挨拶で式典が始まった。

式典では主催者を代表して、野中広務全国水土里ネット会長が挨拶を述べ、高橋はるみ北海道知事から歓迎の言葉など開催にあたってのお礼等を頂いた。さらに来賓の江藤拓農林水産副大臣より祝辞を頂き、その後土地改良事業功績者表彰式が行われ、本県からは本会監事である大和町土地改良区の大和田清一理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞した。

続いて、農林水産省農村振興局小林次長より「東日本大震災からの復旧・復興」並びに「農業農村整備事業の展開方向」について基調講演が行われた。

その後「東日本大震災の復旧・復興状況」について、被災3県の水土里ネット（岩手県・宮城県・福島県）より基調報告が行われた。本県からは、本会の佐藤技監が復旧・復興状況について説明を行った。



水土里ネットみやぎ佐藤技監の復旧・復興状況報告

今回の全国大会には、本会の伊藤会長を始め宮城県・土地改良区・水土里ネットみやぎ総勢48名が参加した。

大会会場には「東日本大震災の復旧・復興パネル展」のブースが設置され、多くの大会参加者の関心を集めていた。



式典会場前にて



全国土地改良事業団体連合会長賞を受賞した
大和町土地改良区 大和田理事長（中央）

大会2日目の9月12日には、北海道美唄市、月形町、南幌町で事業視察が行われ、本会では光珠内調整池・北海幹線用水路（国営かんがい排水事業）、石狩川頭首工（国営かんがい排水事業）、中樹林地区（国営農地再編整備事業）を視察した。北海道大会期間中は天候に恵まれ、無事大会の一切を終了した。

また、来年の第37回全国土地改良大会の開催地は山梨県と報告された。（平成26年10月30日開催予定）



事業視察 光珠内調整池



事業視察 北海幹線用水路



事業視察 石狩川頭首工



事業視察 中樹林地区



第18回七夕祭り

こどもに夢を

～復興へ広がる水土里の輪～

- ・テーマ：こどもに夢を
- ・サブテーマ：復興へ広がる水土里の輪
- ・開催日時：平成25年8月6日（火）～8日（木）【3日間】
- ・開催場所：勾当台公園市民広場（宮城県仙台市役所前）
- ・主催：東北農政局、宮城県、水土里ネットみやぎ
- ・来場者：宮城県民、観光客約97,000人

去る8月6日～8日の3日間にわたり、東北農政局、宮城県、水土里ネットみやぎの主催による「第18回七夕まつり“こどもに夢を”」を、宮城県仙台市役所前の勾当台公園市民広場において開催した。このイベントは、会場を訪れる多くの一般の方々に、農業や農村の果たす役割や機能を知ってもらうために平成8年度から実施しており、今年度で18回目の開催となった。

今年は、東日本大震災からの復旧・復興の状況を多くの方々に知っていただきたいという思いから、「～復興へ広がる水土里の輪～」をサブテーマとし、東北農政局、宮城県、水土里ネットみやぎの各ブースごとに、震災復旧・復興のパネル展示や農業・農村の持つ多面的機能の紹介などを行った。

水土里ネットみやぎのブースでは、亘理土地改良区の協力で毎年恒例となっている「ザリガニ釣り体験コーナー」に、たくさんのお子どもたちが絶えず来場し大盛況であった。また、今年も「小水力発電コーナー」を設置し、実際にデモ機を使い発電している状況について体験してもらい、水のチカラで発電する仕組みについて子どもたちに学んでもらった。

七夕まつり期間中は晴天に恵まれたが、一時的に雷雨に見舞われることもあった。3日間にわたり、多くの方々に来場していただき、震災からの復旧・復興の状況を広く認識していただくことができたと感じた。今後も一日も早い復旧・復興に向けて、より一層尽力していかねばならないと実感した。



毎年大盛況のザリガニ釣り体験コーナー



生きものふれあいコーナーの様子



小水力発電コーナーの様子



現場技術体験コーナーの様子（7日のみ）

平成25年度 宮城県農業集落排水事業推進協議会 担当者研修会

去る10月11日（金）、秋田県由利本荘市万願寺において「平成25年度宮城県農業集落排水事業推進協議会担当者研修会」が開催された。

担当者間の情報等の交換、並びに宮城県内の農業集落排水事業の推進に役立てることを目的とし、当日は会員等17名が参加した。

小友第一地区にて切替改築工事（1,370人 J-Ⅲ → J-XⅣR）を視察した後、県内の接続率の向上や機能強化に向け意見交換が実施された。



由利本荘市役所 水土里ネット秋田による説明



工事の進捗状況について説明

平成25年度 宮城県中山間地域活性化推進協議会 担当者研修会

去る10月25日（金）、岩手県和賀郡西和賀町において「平成25年度宮城県中山間地域活性化推進協議会担当者研修会」が開催された。

情報の収集、交換、共有化を図るとともに、会員相互の連携強化による中山間地域の活性化に資することを目的とし、当日は会員等17名が参加した。

「山菜研究所」の現地視察を行った後、西和賀町第三セクターゼネラルマネージャー志村尚一氏、大野集落営農組合組合長高橋雅一氏による、「中山間地域資源（食材・人材・風土）を活かした未来づくり」、「過疎集落再生事例」の講演が行われた。



山菜研究所の視察



西和賀町長の歓迎挨拶

みやぎの農業農村 復興米の新米試食会を開催

去る10月22日、農林水産省内にある「消費者の部屋」で開催された宮城県主催の「みやぎの農業農村 復旧・復興展」において、「みやぎの農業・農村 復興米の新米試食会」を開催した。

「みやぎの農業農村 復旧・復興展」は、東日本大震災からの農地や農業用施設などの復旧・復興の現状をパネル展示により伝えるもので、本会としても復興に向けて全国からよせられた支援への感謝を伝えるために、津波により甚大な被害を受けた沿岸部で3年ぶりに収穫された新米による試食会を併催したものである。

試食会では、仙台市若林区六郷地区の「ササニシキ」と石巻市大川地区の「ひとめぼれ」のおむすびが並べられ、会場を訪れた多くの見学者に振る舞われた。

会場では、新米を提供していただいた仙台東土地改良区理事長や北上川沿岸土地改良区理事長をはじめ、被災した沿岸部の土地改良区の理事長が農地の復旧や米の作付け、収穫状況についての説明にあたった。

林芳正農林水産大臣、吉川農林水産副大臣を始め、多くの関係国会議員や實重農村振興局長など、農林水産省の関係者も次々に視察に訪れ、復興状況のパネルを見ながら関係者の説明を受け、新米のおむすびを試食し、「うまい」と顔をほころばせていた。



復興米を試食する林農林水産大臣



復興米の試食用おむすび



収穫状況の説明をする沿岸部の土地改良区理事長さん方

平成25年産新米（復興米）試食会を開催

本会では、去る11月29日（金）、宮城県土地改良会館において、「平成25年産新米（復興米）試食会」を開催し、東北農政局長、宮城県副知事、県内土地改良区理事長など関係者約50名が参加した。

この新米（復興米）試食会は、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県沿岸部の農地の復旧・復興を広くPRするため、除塩対策等を行った田んぼから、震災後3年ぶりに収穫された新米の試食会を行ったものである。

始めに、水土里ネットみやぎ伊藤会長より、「東日本大震災から2年8ヶ月余り経過し、沿岸各地の復興は着実に進んでいる。まだまだ道半ばであるが、これからも関係各位のご尽力をお願いするとともに、我々被災県、被災水土里ネットとしても東日本大震災を風化させることの無いよう、適切な情報発信をする必要がある」と挨拶を申し上げた。

次に、東北農政局佐々木局長、復興庁宮城復興局稲田次長、宮城県若生副知事より祝辞を頂き、被災した土地改良区を代表して、仙台東土地改良区佐藤理事長より感謝と御礼の挨拶を行った。

試食会では、2つの地域で収穫されたお米（仙台東土地改良区（ササニシキ）・北上川沿岸土地改良区（ひとめぼれ））を各改良区より提供して頂き、弁当・おにぎりとして出席者に振る舞った。

試食した関係者は、「とても美味しいです。津波被害からここまで復旧・復興し、収穫できた喜びと食べることができた事への感謝の気持ちでいっぱいです。」と思いを語った。

最後に、水土里ネットみやぎ三品副会長から閉会のあいさつを頂き、新米（復興米）試食会の一切を終了した。



水土里ネットみやぎ伊藤会長の開会あいさつ



お弁当を試食する伊藤会長・若生宮城県副知事



新米（復興米）試食会の様子



試食会で提供されたお弁当・おにぎり

平成25年度 土地改良区職員研修会を開催

去る11月18日（月）午前10時30分から、本会会館 5 階大会議室において、県内39の土地改良区職員61名の参加による平成25年度土地改良区職員研修会を開催した。

この研修会は、土地改良区職員の資質向上と、近年問題となっている課題等について情報提供することを目的に毎年開催しているものである。

研修会では各分野の専門家から熱心な講義が行われ、また質疑応答では、具体的な質問や意見が積極的に出され、有意義な研修となった。



高橋専務理事の挨拶



職員研修会の様子

平成25年度 土地改良区役員研修会を開催

去る11月28日(木)～29日(金)の2日間、大崎市鳴子温泉の「鳴子観光ホテル」において、県内49の土地改良区理事・監事153名の参加のもと平成25年度土地改良区役員研修会を開催した。この研修会は、土地改良区役員の資質向上と、近年問題となっている課題等について情報提供することを目的に毎年開催しているものである。

研修会では各分野の専門家からの講義が行われ、熱心な質疑応答や意見が出された。

また懇親会では、他団体との意見交換が行われ有意義な時間を過ごした。



高橋専務理事の挨拶



役員研修会の様子

祝 鳴瀬川土地改良区・志田郡桑折江土地改良区 合併予備契約調印式が開催される ～新設合併名称：鳴瀬川沿岸土地改良区～

去る10月9日（水）大崎市にあるグランド平成に於いて鳴瀬川土地改良区と志田郡桑折江土地改良区との「合併予備契約調印式」が開催された。平成25年1月30日に鳴瀬川中流土地改良区統合整備推進協議会を設立し、早期合併へ向けて検討を重ねてきた。両土地改良区の合併は運営基盤の強化や行政との連携強化、土地改良区施設管理の一元化や事務の効率化等を目的とした。調印式には、両土地改良区の役職員並びに関係機関等60名が出席し、本会から伊藤会長及び高橋専務理事が出席した。式典では、照井節雄協議会会長（鳴瀬川土地改良区理事長）の式辞で始まり、久本徳衛協議会副会長（志田郡桑折江土地改良区理事長）による経過報告の後、新組織名を『鳴瀬川沿岸土地改良区』とすることなどを盛り込んだ「合併予備契約書」に各理事長らが調印した。最後に、久本徳衛協議会副会長（志田郡桑折江土地改良区理事長）の閉会挨拶で調印式を閉じた。今後は、平成26年4月1日の合併認可による3,493.8ha（県内11番目規模）の土地改良区設立を目指す。



合併予備契約調印



固い握手

土地改良区名	鳴瀬川土地改良区	志田郡桑折江土地改良区	計	
土地改良区の前身等	加美郡館前土地改良区 上川原堰土地改良区	桑折江普通水利組合		
所在地・電話	大崎市古川中沢字中沢屋敷264 0229-52-2063	大崎市松山千石字広田30 0229-55-2361		
設立年月日認可番号	平成10年4月1日 宮区第346号	昭和27年8月1日 宮区第87号		
理事長名	照井節雄	久本徳衛		
関係市町村	大崎市・加美郡加美町	大崎市・遠田郡美里町		
地区面積	2049.5ha	1,444.3ha	3,493.8ha	
組合員数	1,569人（重複10名）	877人（重複10名）	2,436人（重複10名）	
総代理	50人	35人	85人	
役員数	12人	10人	22人	
内訳	理事数	員内9人、員外0人 計9人	員内7人、員外0人 計7人	員内16人、員外0人 計16人
	監事数	員内3人、員外0人 計3人	員内3人、員外0人 計3人	員内6人、員外0人 計6人
職員数等	男4人、女1人 計5人	男4人、女0人 計4人	男8人、女1人 計9人	
現在の事業内容	基幹水利施設管理事業 土地改良施設維持管理適正化事業	基幹水利施設管理事業 土地改良施設維持管理適正化事業		



経過報告



閉会

平成25年度新任（若手）職員研修会

この度、本会並びに会員各土地改良区の新任(若手)職員を対象に、農業農村を取り巻く諸情勢の変化等様々な課題に適切に対応できる人材育成を目的とした研修会を開催した。

研修には、本会と県内13の土地改良区から31名の参加があり、講師として宮城県農林水産部農村振興課の担当職員並びに人材育成研修を行っているコンサルタント会社から講師を招き研修を行った。

1. 日 時 平成25年 10月29日(火)～30日(水)、 1泊2日
2. 場 所 公益財団法人 東北自治研修所（研修、宿泊）
3. 研修内容
 - ・土地改良法の概要
 - ・宮城の農業農村整備とその歴史
 - ・業務遂行に求められる接遇・マナー
 - ・人間関係とコミュニケーション
 - ・エニアグラム

☆ 研修を終えてのアンケートから ☆

- ・私は今まで研修会などには参加したことがなかったので、目上の方への話し方がなっていないと悩んでいました。今回学んだ事を今後の業務、また、人間関係に応用していきたいと思いました。
- ・接遇やマナー等、再確認する研修に参加でき良かったと思います。飽きる事なくとてもわかりやすい研修でした。中々他の改良区の方と会う機会がないので今後もこのような研修があると嬉しいと思います。
- ・私は、このような研修を、今後も是非続けていってほしいと思います。普段、あまり教わることの無い敬語の使い方や人間関係の大切さなどは、人と関わりをもつ上で欠かせないものなので、今回の研修で、細かいところまで教えて頂きとても参考になりました。また、自分の性格を知った上で、上司、今後できる部下、そして地域の方と付き合っていければと思います。2日間、ありがとうございました。



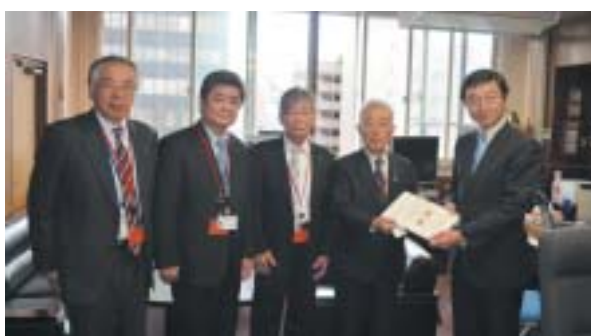
平成25年度 新任（若手）職員研修会

東北農政局・復興庁宮城復興局へ要請活動

～東日本大震災からの早期の再生・復興と平成26年度予算の確保に関する要請活動～

本会では、去る10月21日（月）東日本大震災からの早期の再生・復興と平成26年度予算の確保に関する要請活動を実施した。東北農政局では佐々木東北農政局長をはじめ、東北農政局次長・整備部長を訪問し、復興庁宮城復興局では、梶原復興局長・稲田次長を訪問し、それぞれ平成26年度予算の確保に関して要請を行った。

本会からは三品副会長、佐藤理事並びに高橋専務理事が出席した。



佐々木東北農政局長への要請書提出



復興庁宮城復興局の梶原局長・稲田次長への要請書提出

平成26年度農業農村整備関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動

～東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会～

去る11月25日（月）～26日（火）、東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会では、財務省・農林水産省・復興庁に対し、平成26年度農業農村整備関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動を行った。

復興庁では、根本大臣、農林水産省では、吉川農林水産副大臣をはじめ、實重農村振興局長、小林次長、室本整備部長、財務省では、香川主計局長を訪問し、それぞれ東日本大震災からの再生・復興に関する要請を行った。



實重農村振興局長への要請書提出

農山漁村地域復興基盤総合整備事業 「西矢本地区」の安全祈願祭 ～安全祈願祭が開催される～

去る8月29日（木）、東松島市小松の東松島市民体育館において、農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）「西矢本地区」の安全祈願祭が開催された。

当日は関係機関から約80名が出席し、本会からも伊藤康志会長（代理：佐藤技監）が出席した。

起工祝賀会では、西矢本地区基盤整備事業実行委員会及川胤雄委員長の挨拶で始まり、渥美巖宮城県議会議員、宮城県東部地方振興事務所大内仁所長、阿部秀保東松島市長より祝辞をいただき、最後に、西矢本地区基盤整備事業実行委員会櫻井一正副委員長の謝辞により祝賀会を閉会した。



鋤入れ式

七ヶ浜土地改良区事務所建設に係る起工式 ～起工式が開催される～

去る10月10日（水）、宮城郡七ヶ浜町吉田浜字小浜において、七ヶ浜土地改良区事務所建設に係る起工式が開催された。

当日は関係機関から約20名が出席し、本会からも高橋専務理事が出席した。

式典では、宮城郡七ヶ浜町七ヶ浜土地改良区我妻周悦理事長の挨拶で始まり、東日本大震災から現在までの経過について説明がなされた。

続いて、渡邊善夫七ヶ浜町長、本会の高橋専務理事より祝辞をいただき、最後に、宮城郡七ヶ浜町七ヶ浜土地改良区佐藤壮一副理事長の謝辞により式典を閉会した。



鎌入れ式

国営仙台東土地改良事業の起工式 ～起工式が開催される「日本農業のモデルに」～

去る10月25日（金）、仙台市若林区の仙台市農業園芸センターにおいて、国営仙台東土地改良事業の起工式が開催された。

当日は、関係機関から約130名が出席し、本会からも伊藤康志会長（代理：高橋専務理事）が出席した。

式典では、佐々木康雄東北農政局長が祝辞を述べられ、続いて、小里泰弘農林水産大臣政務官、谷公一復興副大臣、奥山恵美子仙台市長、若生正博宮城県副知事より挨拶をいただき、最後に、仙台東土地改良区佐藤稔理事長の謝辞により式典を閉会した。



鍬入れ式

農業競争力強化基盤整備事業「名鱈地区」の安全祈願祭 ～安全祈願祭が開催される～

去る10月31日（木）、涌谷町名鱈の国営田沼排水機場において、名鱈地区基盤整備事業（農業競争力強化基盤整備事業）の安全祈願祭が開催された。

当日は、関係機関から約60名が出席し、本会からも伊藤康志会長（代理：佐藤技監）が出席した。

式典では、本地区の早期事業完了、工事の安全を祈願するための神事が執り行われた。



鎌入れ式

祝 県営担い手育成基盤整備事業 「田尻第2地区」の完工祝賀会 ～完工祝賀会が開催される～

去る11月22日（金）、大崎市田尻沼部のみどりの農業協同組合田尻支店において、県営担い手育成基盤整備事業「田尻第2地区」の完工祝賀会が開催された。

当日は、関係機関から約80名が出席し、本会からも高橋専務理事が出席した。

式典では、江合川沿岸土地改良区氏家敏理事長の挨拶で始まり、宮城県北部地方振興事務所宮崎博之所長（代理：清和田久義副所長）より事業経過報告があった。続いて、伊藤康志大崎市市長（代理：岩渕文昭副市長）、安部周治涌谷町長、宮城県農林水産部山田義輝部長（代理：菅原喜久男次長兼農村振興課長）より祝辞をいただき、最後に、田尻第2地区換地評価委員後藤清夫委員長の挨拶により式典を閉会した。



完工祝賀会

農山漁村地域復興基盤総合整備事業 「岩沼地区」の安全祈願祭、起工式 ～安全祈願祭、起工式が開催される～

去る12月17日（火）、岩沼市里の杜の岩沼市総合体育館岩沼ビックアリーナにおいて、農山漁村地域復興基盤総合整備事業「岩沼地区」の安全祈願祭並びに起工式が開催された。

当日は、関係機関から約100名が出席し、本会からも伊藤康志会長（代理：高橋専務理事）が出席した。安全祈願祭では、本地区の地域農業の早期復興、工事の安全を祈願するための神事が執り行われた。

起工式では、村井嘉浩宮城県知事の式辞で始まり、宮城県仙台地方振興事務所薩川昌則所長が事業概要の説明を行った。続いて、谷公一復興副大臣、和田政宗参議院議員、安藤俊威宮城県議会議長、井口経明岩沼市長より祝辞をいただき、最後に、地元代表者として、名取土地改良区布田吉昭理事長の挨拶により式典を閉会した。



鍬入れ式

農山漁村地域復興基盤総合整備事業 「亘理地区」の安全祈願祭、起工式

～安全祈願祭、起工式が開催される～

去る12月19日（木）、亘理郡亘理町吉田の亘理町農村環境改善センターにおいて、農山漁村地域復興基盤総合整備事業「亘理地区」の安全祈願祭及び起工式が開催された。

当日は、関係機関から約80名が出席し、本会からも伊藤康志会長（代理：高橋専務理事）が出席した。

安全祈願祭では、本地区の地域農業の早期復興、工事の安全を祈願するための神事が執り行われた。

起工式では、若生正博宮城県副知事の式辞で始まり、宮城県仙台地方振興事務所薩川昌則所長より事業概要の説明を行った。続いて、復興庁宮城復興局梶原康之局長（代理：石田勲参事官）、和田政宗参議院議員、渥美巖宮城県議会副議長、齋藤邦男亘理町長より祝辞をいただき、最後に、地元代表者として、亘理土地改良区三品幸徳理事長の挨拶により式典を閉会した。



鍬入れ式

測量の新時代！

モバイル・マッピング・システム

MMS でコストダウンと作業効率を向上

土地改良事業の基盤地図データの作成から、農道台帳、用排水施設アセットマネジメント、田面高の調査など道路を走行するだけで必要な空間情報（3次元情報）を取得し、短工期で高精度なデータをお客様に提供します。



株式会社パスコ 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 2-2-11 問合せ：022-299-9522

PASCO
World's Leading Geospatial Group

平成 25 年度

新規採用職員の紹介



総務企画部総務班 伊藤 純

この度、新規採用職員として宮城県土地改良事業団体連合会総務企画部総務班に配属になりました、伊藤純です。

出身は秋田県ですが、大学進学と同時に宮城県で暮らし始め6年目になります。大学時代は心理学を学びながら、ボランティアやアルバイトに励んできました。農業を専門に学んできたわけではありませんが、復興ボランティアを通して、震災後の農地復興の現状などを知り、自分も農業の再生のため力になりたいと思い土地連に入社しました。

採用後は、総務企画部の契約担当として仕事をさせていただいております。最初は右も左も分からず戸惑うことが多くありましたが、諸先輩方に、仕事の内容等を詳しくご指導いただいたおかげで、段々と仕事内容を理解し、自分で考えながら仕事を進めることができるようになってきました。また、契約担当ということで外に出る機会も多くあり、多くの人とつながりを持つことにも喜びを感じています。

これからは、職場の中で様々な仕事を経験していくと思いますので、その一つ一つと全力で向き合いながら、幅広い知識と対応力を身につけていきたいと思っています。まだまだ未熟な部分も数多くあり、皆様には色々ご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思いますが、精一杯頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



総務企画部総務班 伊藤 弘子

本年4月より宮城県土地改事業団体連合会の新規採用職員となりました伊藤弘子と申します。

私は大学を卒業してから社会に出て6年目になります。同期の新規職員の皆さんと比べると年齢的なフレッシュ感は少なめですが、これを機に初心にかえり、心機一転新たな気持ちで日々の業務に取り組んでいます。

最初の頃は緊張の連続でしたが、仕事を始め9ヶ月が経ち職場の雰囲気にも大分慣れてきました。皆様の温かいご指導のもと大変充実した毎日を送らせて頂いております。

デスクワークがメインではありますが、この9ヶ月間を振り返ってみると、田んぼの生きもの調査や仙台七夕まつりでの農業農村整備事業の広報活動、中山間地域活性化活動の体験等様々な研修がありました。どれも今まで経験したことのないものばかりでしたので、大変面白く、貴重な体験をさせて頂きました。

簡単に自己紹介をします。私は生まれも育ちも仙台市で、仙台が大好きです。

趣味は旅行で、週末にはよく友人と車を走らせ東北地方や北関東を中心にドライブを楽しんでいます。身体を動かすことも好きで中学の頃からテニスを続けています。スポーツはプレー、観戦ともに好きです。好きな食べ物はおにぎりです。

現在、総務企画部に配属となり、本会の運営に係わることを中心とした様々な業務を教えて頂いております。一から教えてもらうことが多く迷惑をかけてばかりですが、1つ1つの仕事を着実に覚えできることを増やしていきたいと思っています。

私の些細な質問にも丁寧に答えて下さったり、フォローして下さる上司や先輩方に感謝し、一日も早く皆様のお役に立てるよう誠心誠意努力して参ります。また、仕事が未熟な分気配りや気遣いを常に意識し、笑顔で明るい対応を心がけ職場の明るい雰囲気作りへ貢献していきたいです。

これからも精一杯頑張りますので、ご指導の程どうぞ宜しくお願い致します。



管理指導部換地・集積班 岩 渕 信 吾

この度、新規採用職員として宮城県土地改良事業団体連合会管理指導部換地・集積班に配属されました岩渕信吾です。

出身は東松島市（旧矢本町）です。大学のため4年間秋田県に住んでいた時期以外は東松島市に住んでおり、今は自宅から通勤しています。

また中学のころから趣味で草野球をやっており、今でもチームに所属しています。野球は上手ではありませんが、チームではコーチも兼任してい

ます。

大学では経済学部在籍し、経済地理学を専攻していました。

大学を卒業してからはいろいろな仕事をしてきましたが、農業に関する仕事は今回がはじめてです。前職で不動産を扱う仕事をしていたので、換地業務で使う登記簿などの見方がわかるのがせめてもの救いです。

これまで大所帯の職場に勤めたことがなかったので、当初は若干の戸惑いのようなものがありました。最近ではそれも緩和されてきました。今後は仕事を1つずつ確実に覚えていき、はやく水土里ネットみやぎの戦力になりたいと思っています。また、東日本大震災で被災した農地の復旧・復興の役に立てるようになりたいとも思っています。そのためには、与えられた仕事をきっちりこなし、そこで何が良くて何が悪かったのかという振り返りをするのが大切だと考えています。そうすることによって、次回同じ仕事をするときにスムーズに作業ができ、効率的な仕事ができると思います。

これから、あたえられた業務に対し向上心を持って、取り組んでいきます。まだまだ分からないことがいっぱいありますので、先輩方のご指導・ご鞭撻をいただきながら、水土里ネットみやぎの職員として頑張りますので、よろしくお願いいたします。



管理指導部換地・集積班 佐 藤 秀 美

平成25年度より、宮城県土地改良事業団体連合会の新規職員となりました佐藤秀美です。出身は岩手県奥州市の水沢という所で、大学進学を機に、仙台で暮らしています。地元水沢は、鋳物産業が盛んな町です。南部鉄器の鉄瓶で沸かしたお湯で作るコーヒーはまるやかで、少し贅沢な気分させてくれます。また、夏になるとJR水沢駅のホームには南部風鈴がたくさん飾られ、「風鈴駅」とも呼ばれています。涼やかな音色を聞きに、是非ぶり途中下車してみてください。

趣味は映画鑑賞で、多いときは週に4、5本観ています。特にミュージカル映画が好きで、レ・ミゼラブルはおすすめです。この作品は、何度観ても新たな感動を味わえます。舞台公演もあるそうなので、機会があれば行ってみたいと思います。

私は管理指導部換地集積班に所属しています。昨年は従前図調整、相続調査、地区内アンケート調査等の業務を行いました。換地集積には法律の知識が必要になる場面が多く、特に相続調査等代位登記に関しては、個人情報扱うということもあり、正確に理解する必要があるなど感じています。また、各種委員会にも参加させて頂き、農家の方々の意見や要望等を直接聞き、現在の実状や農業者の様々な思いを知ることが出来ました。この経験を今後の業務に生かしていければと思います。

土地連に入職するまでは、農業に関わる機会が無かったため、慣れない言葉等に戸惑う事もありましたが、班員の方々のご指導のお陰で、なんとか業務を進める事が出来ました。日々学ぶ事が多く、同時に課題も見えてきたので、今後一つ一つ達成出来るよう努力して行きたいと思っています。まだまだ未熟者で、ご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、今後ともどうかよろしくお願い致します。



管理指導部施設管理指導班 佐藤 晴彦

この度、新規採用職員として宮城県土地改良事業団体連合会管理指導部施設管理指導班に配属となりました佐藤晴彦です。本会に入会してから早いもので、9か月余りがたちました。職場の環境・雰囲気にも慣れ、仕事も徐々に覚えてきました。

新人紹介ということで、簡単に自己紹介をします。出身は大崎市古川で、現在も古川に住んでいます。趣味はバスケットボールです。中学校、高校とやってきて、現在も地元のチームに所属し活動をしております。実家が農家でしたので、幼い頃から田んぼにはよく行って手伝いをしていました。そういった環境で育ったので、農業農村はとても身近に感じています。配属された管理指導部施設管理指導班は、その名の通り施設に関する業務を行っております。例えばポンプ場もその一つですが、今まで身近にあったものの実際に間近で見たり、触ったりすることはありませんでした。現場に行ってみて実際に自分で触れたりしてみると少しずつですが、わかるようになってきたと思います。施設機械は複雑なものが多く、すべてを覚えるまでには時間がかかるかと思いますが、少しでも早く覚えられようがんばりたいと思っております。

また、県内には数多くの土地改良施設があり、今後それらの施設の老朽化が問題となってくることから、施設の延命・長寿命化等が必要になってきます。問題、課題を解消し県内の農業の発展に少しでも寄与できるような技術者になりたいと思っております。まだまだ、わからないことがたくさんあり、皆様には迷惑をかけてしまうことがあると思っておりますが、早く一人前になれるように日々努力をしてみたいと思っております。今後ともご指導のほどよろしくごお願い致します。



農村整備部農村整備一班 高橋 洋輔

平成25年度の8月より新規採用職員として、宮城県土地改良事業団体連合会農村整備部に配属された高橋洋輔と申します。

前職ではホームページの作成・運用等に携わっていましたが、震災を契機に一念発起し、出身地である宮城の復興の為に少しでも力添え出来ればと、今回この業界に挑戦する事に致しました。農業農村整備の業務は未経験ゆえに戸惑いも多くあり、4ヶ月経過した現在でも依然として知識と経験不足が目立ち、周りに迷惑を掛けてしまっているのが現状です。

そのような中、本会ではホームページの充実化や会員サービスの拡充を図り、一般の方々に対しても農業農村整備事業への広報活動を強化する構想の中で、前職で培ってきた技術・経験を生かす機会を頂きました。ホームページ作成は得意分野にもかかわらず、農業土木の用語の一つも分からず、模索しておりましたが、周りの皆様の的確なご指導のお陰で不安を払拭することができました。

これからは、先輩・上司、そして宮城の農業農村整備のため尚一層尽力して参りますので、ご指導・ご鞭撻をいただければ幸いです。今後ともよろしくごお願い致します。



農村整備部農村整備二班 菅野 椋 太

平成25年度より、新規採用職員として宮城県土地改良事業団体連合会農村整備部に配属されました菅野椋太です。私は大崎市古川の出身で、学生の頃からサッカーをしており、現在でも地元チームに所属し、体を動かしています。他に音楽を聴くことと、映画を観ることも好きなので、休日は主にそういった過ごし方をしています。小牛田農林高校で農業土木を学びましたが、その後まったく違う分野の専門学校に進学したため、数年のブランクがあり、今はまだまだ大変な事ばかりですが、日々やりがいを感じながら過ごしています。連合会に入ってから、出張などでさまざまな人と接し、お話できるので、とても良い経験になっています。

実家が農家のため、幼い頃から田植えや農作業の手伝いをしていました。今でも繁忙期には手伝いをしているので、農業には思い入れがあります。だからこそ、近年TPP問題などで農業の行く末が危ぶまれているという報道がされているのは、若い世代の私にとっては辛いものがあります。そういった課題や問題が浮き彫りになっている現在、今しか出来ないこともあると思うので、真摯に向き合って農業の未来を守っていく一助となれば嬉しいです。

連合会に入って8ヶ月が経過しましたが、まだまだわからないことがたくさんあります。先輩方の仕事に取り組む姿勢を見て勉強し、目の前の業務を一つ一つ確実に積み重ね、幅広い知識と経験を得たいと思います。そして多種多様な仕事に取り組み、信頼される技術者になれるよう努力していきたいです。

今年度の採用は私を含め8名です。互いに切磋琢磨し、悩んだ時には相談し合える同期が多いので非常に心強いです。

今後、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、先輩方にご指導いただきながら、地元の発展に少しでも貢献できるように頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



古川事業所農村整備一班 日下 雄 介

この度、新規職員として宮城県土地改良事業団体連合会古川事業所農村整備一班に配属されました日下雄介です。

簡単な自己紹介をしたいと思います。出身は大崎市松山です。自宅から自転車で20分の宮城県小牛田農林高等学校出身で、農業土木について学びました。学生時代は野球部に所属し、ピッチャーとショートをしていました。今は、草野球チームに入り毎週日曜日に野球をしています。卒業してからも好きな野球ができ、試合で勝ったときの嬉しさ、負けたときの悔しさを味わえてとても充実した休日を過ごしています。野球は体が続く限り、続けていきたいと思っています。今はオフシーズンなので、早く野球がしたくて春が待ち遠しいです。今のところ、野球以外に経験がないのでいろいろなスポーツに挑戦していきながら趣味を増やしていきたいと思っています。

高校時代、農業技術科農業土木コースで測量や設計・施工など専門的知識や技術を学んできました。中でも記憶に残るのが、課題研究で取り組んだ暗渠排水施工です。工程の決定から測量、図面作成、配管設計など施工するまでにこんなに時間がかかり大変だと初めて知りました。皆で苦勞しながらの施工が終わり、完成したときの達成感は素晴らしいものでした。

入会当時は、新しい環境で自分がやっていけるのか不安に感じることもありましたが、優しい上司の方々や同じ高校出身の先輩方に恵まれ、今では充実した日々を送っています。現場立会いに行き初めて状況写真を撮ったとき、全景・接写を自分で考えながら工夫して撮影したつもりでしたが、なかなかいい写真は撮れませんでした。写真の撮影でももっと工夫をして撮らなければいけないと思いました。一日でも早く一人前の仕事ができるように一つ一つを確実に覚えて、諸先輩方のご指導を仰ぎ、技術や知識を積みながら頑張っていきたいです。まだまだ未熟ですが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

農地・水保全管理支払交付金

志波姫地区十文字地域環境保全会(栗原市)

十文字地区では、平成19年4月から農地・水・環境保全向上対策に取り組み、農家と非農家に関係なく、構成員120名(130ha)で農地や農業用施設の維持管理活動等を行っています。

様々な立場の方が一緒に作業をすることにより、お互いを知る機会が増え、農家と子供を含む非農家は大変良い関係になっています。

特に学校教育との連携では、小学生以下の子供達を対象に、田植えと稲刈り/脱穀体験を行い、ひとめぼれ約600キロを収穫しました。更に美しい田園景観が地域の財産である事を学習してもらっています。

また、志波姫十文字地区「秋の交流フェスティバル」を開催し、更に多くの方々に理解を深めて頂く努力もしています。

基礎活動



側溝の泥上げ



砂利の補充



路肩、法面の草刈



排水路の泥上げ

農村環境保全活動



景観形成のための植栽



生物の生息状況の把握



水質モニタリングの実施・記録



学校教育との連携(脱穀)

施設の長寿命化や水質・土壌等の高度な保全活動



給水口の点検



ゲートの更新



破損施設点検・補修



素堀水路をコンクリート水路へ

秋の交流フェスティバル【地域住民との交流活動】



秋の交流フェスティバル
「農地水活動報告」



地産地消即売会



子どもたちの稲作体験発表



子ども達が手がけた
「おにぎり」試食会

日本人が作った日本人のためのCAD

Bigvan a1-N11 CAD+土木オプションで広がる利用範囲！ 土木オプション

GPS位置情報が付加された写真を取り込み、撮影場所などを簡単に特定した図面を作成することができます。

詳細は、当社ホームページへ <http://www.bigvan.co.jp/>

株式会社 ビッグバン 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-12 NKビル9F tel 03-3851-2227 fax 03-3851-2228

- ・GPS写真配置
- ・SIMAデータ
- ・SIMA-DM
- ・座標一覧
- ・クローンID
- ・法面記号
- ・土量計算
- ・面積計算
- ・土木ハッチング
- ・路面標識
- ・赤書き
- ・簡易断面
- ・トラバース/逆トラバース

SOKKIA モータードライブトータルステーションはさらに身近な存在へ!!

DX Series

軽量小型！コンパクトな自動視準TS

モータードライブにより 高速な自動視準

スムーズな微動つまみ

ノンプリズム観測 1,000m

6.1kg

新発売




株式会社 ヤシマ測器店
 〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目6-27
 TEL (022)222-4829 FAX222-4839
<http://www.yashima-s.co.jp>

株式会社同和建材

〒989-6124
 宮城県大崎市古川石森字天王山2-1
 電話 0229-24-2755
 FAX 0229-24-2756

- ☆ 農用水管資材販売
- ☆ 上水・下水道資材販売
- ☆ 暗渠排水資材販売
- ☆ 土木資材販売
- ☆ 各種2次製品販売

より良い農業環境を



オフィスにあるパソコンまわりの「ちょっと助けて！」に


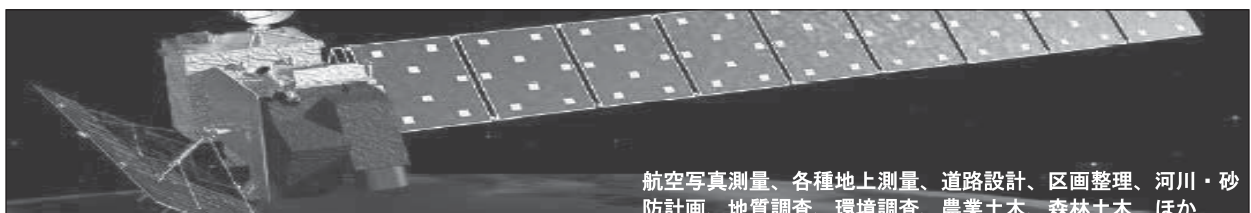
ITあんしんサービスパックⅡ

システム管理者のいないオフィスでも、複数の拠点を運営・管理している企業でも、社員ひとりひとりの「ちょっと助けて」に応えます！

富士ゼロックス宮城株式会社
 仙台市青葉区五橋1-1-23 カメイ五橋ビル5F
 TEL 022-221-2131 (代表)

詳しくはWEBでご覧いただけます！
http://www.fujixerox.co.jp/solution/it_safety/

FUJI XEROX

航空写真測量、各種地上測量、道路設計、区画整理、河川・砂防計画、地質調査、環境調査、農業土木、森林土木 ほか

アジア航測株式会社

仙台市青葉区一番町1-4-28 小松物産ビル4F
 TEL : 022-216-3553/FAX : 022-216-3573



土地改良区の概要

本土地改良区域は、仙台市市街地東部の仙台平野に位置し、地区東部は貞山運河、西部及び北部は市街化区域と七北田川、南部は広瀬川と名取川との境に囲まれた東西約5 km、南北約9 kmの平坦な水田地帯であり、地形は東西に1/800～1/2000の傾斜をなす標高0.40m～3.40mで起伏はほとんど見られない地域である。また、本地域は比較的温暖で積雪量は少なく雨量は5月から9月までの灌漑期間に多く、10月から4月までの非灌漑期間は比較的少ない。本土地改良区の用水は仙台市街地のほぼ中央を流れる広瀬川を用水源とし、愛宕橋の下流にある愛宕堰より取水、下流約500mの分水堰で六郷地区と七郷地区に分水される。六郷地区に分水された用水は六郷堀を流下し、各幹線水路へと分水される。七郷堀に分水された用水は七郷堀を流下して一本杉分水堰（若林区役所内）で仙台堀と高砂堀に分水されそれぞれ配分される。

地区にはそれぞれの沿革があり、六郷堀は寛永5年（1628年）に若林城（現宮城刑務所）が築城された際その城壕に水を注ぐため改修され、藩政時代から六つの村の灌漑用水として利用されていた。七郷堀は、1600年代前半に伊達62万石を支える未開拓地の開墾が盛んに進められた時代に開削され、七つの村の灌漑用水と共に仙台藩の城下の防火用水にも利用され、城下の発展と共に藩政時代から利用されている。以上により各堰は、水利協力会及び水利組合そして土地改良区としての経緯をたどり、施設の維持管理を行っている。水利権者は仙台市であり、土地改良区は利水者となっている。

組織の沿革

本土地改良区は、平成8年4月1日に仙台市六郷土地改良区と仙台市七郷土地改良区の合併により、仙台東土地改良区に名称を変更し、受益面積2,312.9haの耕地であり、その保有している土地改良施設の機能保全のため、維持管理を行っている。

仙台東土地改良区の概要	
所在地	仙台市若林区荒井字丑ノ頭104
設立年月日	平成8年4月1日（宮区第343号）
受益面積	2,312.9ha
組合員数	2,201人
役職員数	理事16人 監事3人 職員14人



国営仙台東土地改良事業

東北農政局は10月25日（金）、仙台市若林区の園芸センターにおいて国営仙台東土地改良事業の起工式を開催しました。起工式には、小里泰弘農林水産大臣政務官や谷公一復興副大臣、佐々木康雄東北農政局長、奥山恵美子仙台市長、若生正博宮城県副知事をはじめとし、事業関係者ら約130名が参列しました。

本地区では、被災した約1,800haの農地について、宮城県及び仙台市の要請を受け、農地の復旧や除塩及び農業用排水路等の施設復旧に取り組んできました。そして、これらの事業に合わせて行うほ場整備事業「国営仙台東土地改良事業」について、今年6月22日に事業計画が確定し、起工式の運びとなりました。式典では、佐々木局長が「基盤整備された農地を最大限に活用し、仙台東部地域の農業が継続的に発展し、再び豊かな仙台平野を取り戻すよう取り組んでいく」と式辞を述べました。また、小里大臣政務官は「本地区の取り組みは震災被災地全体のモデル的、先進的な役割も担う。今後も地元の皆様と一つのチームになって、さらなる農業の発展に踏み出せるようしっかりと取り組んでいく」と挨拶があり、関係者が鍬入れを行い、工事の安全と早期完成を祈願しました。

本事業は、大区画化を主体とする約2,000haの区画整理を復旧工事と併せて実施することとしています。事業の進め方としては、本地区が2,000haを超える大規模なほ場整備工事であること、災害関連事業として事業効果の早期発現を図る必要があることなどの観点から、本地区を27の用水ブロックに細分化し、これを施工単位として工事を行う予定としております。そして、9月中旬には、六郷第4ブロック（井土地区）の換地計画原案が取りまとめられ、平成26年春の完成を目指して同地区のほ場整備事業に着工しました。



式辞を述べる東北農政局長



鍬入れ式の様子



計画用水ブロック図（案）

◆◆本会役員の就任関係◆◆

【宮城県土地改良事業団体連合会】

- 副会長 ⇒ 高橋 義 矩 (迫川上流土地改良区理事長) 就任【H25.10.8】
- 理 事 ⇒ 菅原 勘 一 (大崎土地改良区理事長) 就任【H25.10.8】
- 理 事 ⇒ 安部 昭 男 (伊豆沼土地改良区理事長) 就任【H25.10.8】

◆◆本会会員代表者の就退任関係◆◆

【仙台支部管内】

◇仙台市大倉川土地改良区

- 菅澤 信 弘 ⇒ 佐藤 長 市 就任【H25.7.18】
- 佐藤 長 市 ⇒ 峯 岸 義 信 就任【H25.9.20】

◇名取土地改良区

- 武田 公 男 ⇒ 布田 吉 昭 就任【H25.11.8】

【東部支部管内】

◇北上川沿岸中田地区土地改良区

- 千葉 仁 一 ⇒ 及川 俊 榮 就任【H25.8.10】

◇登米市豊里町土地改良区

- 伊澤 晃 ⇒ 佐藤 幸 喜 就任【H25.9.1】

SEKISUI

エジェクター式真空ステーション

コンパクト真空井ユニット

真空管路

真空ステーション
道路下埋設が可能 (用地買収不要!)

真空式下水道

CP型ステーション

圧送管路

小規模集合処理施設などへ。

下水専用ポリエチレン管

コスト縮減と耐震化を同時に実現!

自然流下では整備が困難な地域に最適なシステム。

真空式下水道システムはこんな地域に最適です。

- ◆ 道路面より民家が低い地域
- ◆ 道路と民家の間に水路あり
- ◆ 道路下に大きな埋設物
- ◆ 路地が狭く深埋設できない

地震に強いライフライン/街づくりに貢献する究極の管路システム

サイバックシステム

積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー 公共インフラ事業部 東京都港区虎ノ門2丁目3番17号(虎ノ門2丁目タワー) 〒105-8450

東日本支店 官需バリューチェーン営業部	中部支店 官需バリューチェーン営業部	西日本支店 官需バリューチェーン営業部	九州支店 官需バリューチェーン営業部
東北官需営業所 022(298)6043	官需バリューチェーン営業所 052(957)5303	近畿官需営業所 06(6365)4546	官需バリューチェーン営業所 092(271)1314
東京官需営業所 03(5521)0646		中・四国官需営業所 082(224)6219	積水化学北海道(株) 営業本部 011(737)6330
関東官需営業所 048(646)0160			

エスロンタイムズ on the Web <http://www.eslontimes.com>

第1回 みやぎのふるさと 農美里^{のんびり}フォトコンテスト

～みやぎの農村の美しい景観・
伝統行事・暮らしを再発見～

作品募集



応募締切
1月31日まで
(当日消印有効)

【第1回みやぎのふるさと農美里^{のんびり}フォトコンテスト応募要領】

- 1. 応募テーマ **みやぎの農村の美しい景観・伝統行事・暮らしを再発見**
 - ・農村の美しい景観（土地改良施設も含む）
 - ・農村での伝統行事
 - ・農村での暮らし（農作業も含む）
- 2. 作品応募規定
 - ① 作品は平成25年1月1日以降に宮城県内で撮影した写真とします。
 - ② 他機関や雑誌等で主催するコンクール、コンテストなどに応募したものは応募できません。（同一作品及び類似作品が他のコンテスト等に応募されていない自作品）
 - ③ 作品のサイズは、四つ切り、四つ切りワイド、A4のいずれかで単写真に限りです。カラー・モノクロの別は問いません。
 - ④ デジタルカメラで撮影した場合、編集（画像加工・調整）していないもので応募してください。（インクジェットプリント可）
 - ⑤ 応募点数は、応募テーマにつき1人1点とします。
 - ⑥ 応募作品については、応募票を作品裏面に添付してください。（ホームページよりダウンロード可）応募票の記入事項は、応募者（職業・学校名）、作品の題名、応募テーマ、撮影地、撮影日、氏名、年齢、性別、住所、電話番号、応募作品に関する簡単なコメント等を明記してください。
 - ⑦ 応募作品に肖像権等を有する被写体がある場合は、応募者本人が公表の承諾を得た上で応募願います。肖像権侵害等の責任は負いません。
 - ⑧ 入賞者には、事務局から通知します。
 - ⑨ 入賞作品の著作権は、主催者側に帰属し入賞通知後に原画（ネガ、ポジフィルム、画像データ等）の提出をお願いします。（デジタルカメラで撮影した場合は、オリジナルデータをCD-R等にコピーしたもの）
 - ⑩ 応募作品は原則として返却いたしません。（ただし、入賞以外の作品は返信切手同封のものに限り返却します）
 - ⑪ 応募規定に違反した場合は、入賞決定後であっても入賞を取り消します。また、審査結果についての問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。
 - ⑫ 撮影の際、農地や農業用施設への無断立ち入りや農地を荒らしたりする事のないよう注意してください。
 - ⑬ 応募作品の取り扱いについては十分注意しますが、不可抗力の破損についてはその責任を負いかねますのでご了承ください。
 - ⑭ 作品が折れたり破損しないよう、厚紙等で補強した大きな封筒に作品を入れる等、十分に注意して提出してください。
 - ⑮ 入賞作品は、主催者の催す各種イベント等での展示やチラシ・パンフレット・ポスター・広報誌・広報資料・HP等に広く活用します。
 - ⑯ 応募に際して収集した応募者の個人情報、本コンテストの目的以外に使用することはありません。ただし、入賞作品の発表や応募作品の展示にあたり、氏名・住所（市町村）・性別・年齢を公表する場合がありますことを承してください。
- 3. 募集期間 平成25年10月上旬～平成26年1月31日まで（当日消印有効）
- 4. 作品応募先 〒980-0011 仙台市青葉区上杉2丁目2-8 水土里ネットみやぎ（宮城県土地改良事業団体連合会）
第1回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト事務局 TEL 022-263-5811
- 5. 審査 2月下旬に主催者の委嘱する審査員により審査を行います。
- 6. 入賞発表 審査終了後、入賞者に直接通知するほか、水土里ネットみやぎホームページ等で発表します。
- 7. 各賞
 - ・宮城県知事賞 1点（表彰状、商品券50,000円分）
 - ・宮城県中山間地域活性化推進協議会長賞 1点（表彰状、商品券30,000円分）
 - ・水土里ネットみやぎ会長賞 1点（表彰状、商品券30,000円分）
 - ・学生優秀賞（中学生、高校生に限る）1点（表彰状、図書カード10,000円分）
 - ・ふるさと賞 3点（表彰状、商品券10,000円分）
 - ・入選 5点（表彰状、商品券3,000円分）
- 8. 主催・後援 主催：宮城県／宮城県中山間地域活性化推進協議会／宮城県土地改良事業団体連合会
後援：みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会／宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会／宮城県写真連盟

土地改良会館改修工事の終了!!

本土地改良会館は、平成25年4月22日より大規模改修工事を行ってきました。工事期間中は、長期にわたり会員並びに関係機関の皆様にご迷惑をおかけしました。

この度、平成25年12月10日をもって、土地改良会館の改修工事は無事終了しましたので、ご報告申し上げます。

改修工事中

改修工事終了後



連合会日誌

	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
8月	1日	宮城県土地改良事業団体連合会 東部支部	①第5回宮城県土地改良事業団体連合会東部支部総会 ②宮城県土地改良事業団体連合会東部支部会員研修会	①福島県津若松市 ②福島県郡山市
	6日～8日	局・県・本会	仙台七夕まつり	勾当台公園
	22日	宮城県農林水産部農村整備課 水利施設保全班	平成25年度第1回農業水利施設ストックマネジメント県推進会議 及び施設管理関係補助事業（水利施設保全班所管）担当者会議	漁信ビル602会議室
	27日	宮城県農林水産部	国における「農林水産業・地域の活力創造本部」等の検討状況に係る情報連絡会	宮城県庁行政庁舎9階第一会議室
	28日～29日	東北・北海道土地改良事業団体連合会	平成25年度事務主任者会議	会議：委員館（盛岡市つなぎ字津の館742） 10時～安全祈願祭（東松島市民体育館）
	29日	西矢本地区基盤整備事業実行委員会	西矢本地区基盤整備事業安全祈願祭	巨理用水（山下揚水機場）
	30日	巨理地区管理体制整備推進協議会	H25年度巨理用水見学会	大和町 まほろほホール
9月	3日	宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会	活動組織支援研修会	登米祝祭劇場
	4日	全国土地改良事業団体連合会	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者研修会	全国都市会館3階 第2会議室
	5日	宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会	活動組織支援研修会	白石市 ホワイトキューブ
	6日	宮城県/宮城県農村振興技術連盟	平成25年度 農業農村整備技術発表会	パレス宮城野 「はぎの間」
	11日～12日	全国土地改良事業団体連合会	第36回全国土地改良大会併催行事における事例紹介	北海道立総合体育センター サパアリーナ
	11日～12日	全土連・水土里ネット北海道	第36回全国土地改良大会北海道大会	北海道立総合体育センター サパアリーナ
	14日	迫川上流地区管理体制整備推進協議会	第14回伊豆野堰祭	伊豆野せせらぎ公園
	17日	本会	平成25年度第2回理事会	ホテルJALシティ仙台2階
	19日	巨理地区管理体制整備推進協議会	平成25年度 坂元川探検「生きもの調査」	山元町立坂元小学校
	25日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	平成25年度第2回事務責任者会議	岩手県下閉伊郡田野畑村「羅賓荘」
10月	7日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	「水土里情報システム」の活用にかかる要請	東北農政局
	8日	本会	平成25年度第1回臨時総会	大会議室
	8日	本会	平成25年度第3回理事会	役員室
	10日	仙台市大倉川土地改良区	総合的な学習の地域活動	仙台市立大沢小学校
	10日	宮城郡七ヶ浜町七ヶ浜土地改良区	七ヶ浜土地改良区事務所建設に係る起工式	宮城郡七ヶ浜町吉田小浜7番8
	16日～17日	水土里ネット富山	とやま水土里フォーラム・農業用水小水力発電推進全国大会	富山国際会議場、富山県民会館
	17日	巨理地区管理体制整備推進協議会	巨理用水見学会	巨理町立巨理小学校
	19日	大崎土地改良区	第9回内川水土里の路ウォーク	大堰頭自工、有権館の森公園、内川沿線
	21日	本会	要請活動	東北農政局、宮城復興局
	22日～23日	2013ため池フォーラム実行委員会	2013ため池フォーラムinふじのくに静岡	静岡県「グランシップ」
	22日	本会	新米試食会・要請活動	農林水産省外
	25日	東北農政局仙台東土地改良建設事業所	国営仙台東土地改良事業起工式	仙台市農業園芸センター
	25日	県中山間協議会	平成25年度担当者研修会	岩手県西和賀町
	29日～30日	水土里ネットみやぎ	平成25年度新任（若手）職員研修会	東北自治研修所
31日	名鱈地区実行委員会	名鱈地区基盤整備事業安全祈願祭	国営田沼排水機場	
11月	6日～7日	東北農政局	土地改良財産管理受託者等会議	仙台第1合庁
	8日	全国土地改良事業団体連合会	地域政策に関する都道府県担当者等会議	中央合同庁舎4号館 12階
	12日	東北農政局	再生可能エネルギー導入促進に係る今後の取組等について	土地改良会館 5F 大会議室
	13日	宮城県 農村整備課水利施設保全班	農業水利施設ストックマネジメント推進会議施設管理研修会	美里町農村環境改善センター
	15日	宮城県農林水産部農業振興課長	農地中間管理機構関連法案等に関する説明会	宮城県庁2階講堂
	15日	迫川上流地区管理体制整備推進協議会	平成25年度「植樹（育樹）祭」	小田ダム
	18日	水土里ネットみやぎ	平成25年度土地改良区職員研修会	本会5階大会議室
	18日	自民党宮城県農林水産業・地域の活力創造本部	自由民主党 農林水産業・地域の活力創造本部「政策懇談会」	江陽グランドホテル3階 孔雀の間
	19日～20日	水土里ネットみやぎ	平成25年度一般職員研修会	本会5階大会議室
	22日	江合川沿岸土地改良区	完工祝賀会	みどりの農業田圃総合 田沢支店2階 多目的ホール
	26日	全土連	農業農村整備の集い	シェンパッハ・サボー
	28日～29日	水土里ネットみやぎ	平成25年度土地改良区役員研修会	大崎市「鳴子観光ホテル」
	29日	水土里ネットみやぎ	平成25年産新米（復興米）試食会	本会5階大会議室
12月	3日～4日	水土里ネットみやぎ・仙台支部	平成25年度 水土里ネットみやぎ・仙台支部 会員代表者及び職員合同研修会	福島県猪苗代町土地改良区
	10日	全土連	農山漁村被災者受入円滑化支援事業第1回担当者会議	東京都 砂防会館
	17日	①岩沼地区区画整理工事安全施行協議会 ②宮城県	①10:00～「農山漁村地域復興基盤総合整備事業 岩沼地区」安全祈願祭 ②10:30～「農山漁村地域復興基盤総合整備事業 岩沼地区」起工式	岩沼市総合体育館 （岩沼ビッグアリーナ）
	18日	宮城県農林水産部	地域政策に関する関係者説明会	本会5階 大会議室
	19日	①巨理地区農地復興工事協議会 ②宮城県	①「農山漁村地域復興基盤総合整備事業 巨理地区」安全祈願祭 ②「農山漁村地域復興基盤総合整備事業 巨理地区」起工式	巨理町農村環境改善センター （体育館）
	25日	全国土地改良事業団体連合会	都道府県土地改良事業団体連合会長等会議	都道府県会館 101会議室
	26日	宮城県 農村振興課	第2回 宮城県農村振興施策検討委員会	宮城県庁 4階北側 庁議室

今後の行事予定

1月	10日	宮城県担い手育成総合支援協議会	平成25年度農業経営改善セミナー	KKRホテル仙台 2階「龍王の間」
2月	上旬	本会	理事会	土地改良会館
	下旬	本会	ISO定期審査	土地改良会館
	下旬	本会	第55回通常総会	土地改良会館

GIS開発/データ作成/ファイリング

VELTEC

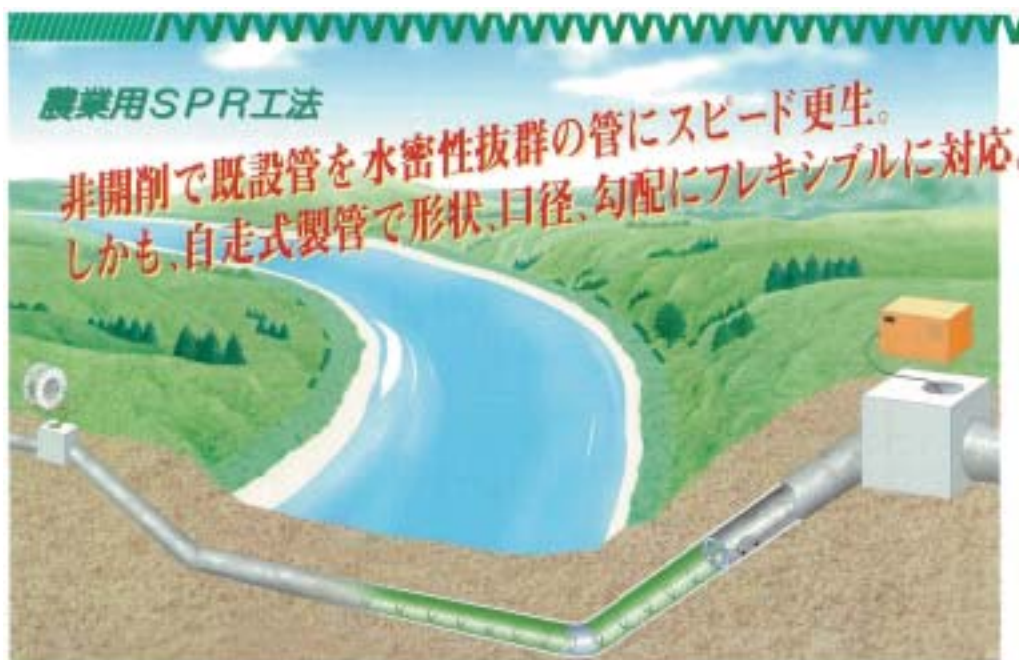
株式会社ベルテック

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4丁目4番3号
TEL 022-299-1231 FAX 022-299-1141

✦ 主な業務内容 ✦

- GIS支援業務 : 地理情報システム・開発・解析処理等
- データベース・ファイリング業務 : CAD入力・電子化ファイリング等
- 広告・デザイン・看板製作業務 : ポスター・のぼり・看板等
- 測量調査業務 : 航空写真測量・地上測量・農地現況調査等

*一般社団法人 JASFA会員



日本SPR工法協会 東北支部
〒981-0954 仙台市青葉区川平1丁目5-30
電話 022-279-5683 (ファクシミリ専用)

日本SPR工法協会
TEL 03-3234-8495(代)
ホームページ <http://www.spr.gr.jp/>



●発行 2014年1月1日

水と土ネットみやぎ (宮城県土地改良事業団体連合会)
〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号
Tel 022-263-5811 (代表) / Fax 022-268-6390
<http://www.mlw.or.jp>

●印刷

株式会社 イシカワ印刷
〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代一丁目24-9
Tel 022-238-0999 / Fax 022-235-9035